

和合

No.107
2015. 11. 20

題字：三浦修次



和合の里秋まつり“秋の収穫作業体験コーナー” 千歯扱ぎに挑戦!

主な掲載記事

おらほの民俗行事……………2	亀治からのメッセージ……………5
和合ってどんなところ……………2	よつぱこ通信……………6
おっきぐなたの〜……………3	こうなってほしちゃ……………6
歯・お口を健康に!……………4	健康レシピ……………7
畑からこんにちは……………4	和合交番……………7
	地域インフォメーション……………8

おらほの 民俗行事

[No.4] 京島編

「いっとごしょ」

菅原 高志 氏

私達の村には、一年の最後の子供達の行事となる「いっとごしょ」という民俗行事があります。

毎年大晦日の夜、子供達が「イットゴショ、イットゴショ」と大声で唱えながら山神社のご神体を背負って各家々を回り、子供の健康と家内安全、五穀豊穰を祈願し、初穂料をもらって歩くものです。

この“いっとごしょ”は、言い伝えによると「一斗五升」とか「遠東御所」と呼んだからとも言われています。

これに参加できるのは、地元の0歳から数え年で13歳まで子供です。役割も歳の順に決まっています。その年に13歳の者はみな大将になり、その下役として太鼓たたき、太鼓背負い、鉦たたき、赤梵天、白梵天頭、残りは白梵天持ちとなります。赤梵天は、白青赤緑黄の五色の御幣を取り付けたものです。

この行事には忌中の家の子供は参加できませんが、初穂料の配分はあり、また、生まれたばかりの子供にも山の神の子として配分されます。

地域の和と共同体の強い絆が生きている限り、山の神への素朴な信仰に支えられたこの行事を今後も継承していきたいものです。



「いっとごしょ」行事の様子
ご神体と共に各戸を回る子供達

和合ってどんなところ

「三愛精神」が息づく和合地域

春、校長先生が「三愛精神とは、人を愛し、ものを愛し、学問を愛すること」と子ども達に話してくださいました。和合地域は、まさに「三愛精神が息づく地域」だと思えます。

地域の方々とお会いすると気さくに声をかけてくださいます。地域の集まりに顔を出すと大歓迎です。「人を愛す」思いやりの精神が伝わってきて、いつも心が温かくなります。

亀ノ尾の里資料館には、寄贈されたたくさんの農具が展示されています。使い込まれた農具ばかりです。一つ一つの農具から地域の方々の「ものを愛す」気持ちが伝わってきます。

郷土の偉人、阿部亀治翁は、研究に研究を重ね、亀ノ尾を生みだしました。亀治翁は、大変勉強家だったそうです。地域の方々の農業に対する情熱と研究心が「学問を愛する」伝統として地域に脈々



かつひこ
佐藤 克彦 教頭先生
(余目第四小学校)

と受け継がれています。

体育館の正面に掲げられている「三愛精神」を見るたびに、和合地域のすばらしさと余目四小に赴任できた幸せを感じています。

おっきぐななの～

【パパ・ママにインタビュー】

- ①名前の由来は？
- ②今一番の興味や、はまっている遊びは？
- ③最近のエピソードは？
- ④パパママの失敗談（子育てあるある！）
- ⑤パパママからのメッセージ

- ①「星のように輝く人に」星が様々な星座を作るようにいろいろな可能性を持った人になるようにと思いを込めてつけました。
- ②お兄ちゃんと一緒になって走り回ること。

- ③名前を呼ぶと手をあげるようになり、音楽に合わせて踊るしぐさをするようになった。
- ④お風呂でちょっと目を離れたすきに石鹸を触って、その手を口に入れてしまったこと。
- ⑤いつも元気いっぱいの惺太くん。これからもキラキラした笑顔でみんなのスターでいてね。



せい 太
加藤 惺太くん(返吉)
平成26年10月16日生まれ
パパ：裕/ママ：あゆ子



りゅうせい
池田 琉世くん(前田野目)
平成26年11月21日生まれ
パパ：国巳/ママ：瞳

- ①この世界を明るく流星のように切り開いて行ってほしいという願いを込めて。
- ②つたい歩きやハイハイで動き回ること。
- ③ハナ（飼い犬）に興味があり、目を離すとものすごいスピードで向かっていく。
- ④寝せるつもりで一緒に布団に入ったが先に寝てしまい、横のボックスティッシュが凄いくことに…
- ⑤思いやりと優しさを大切に。あとは、何にでも興味を持って挑戦してみて!!

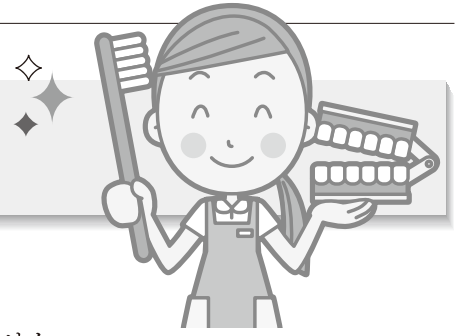


- ①朝日のように明るく輝いてくれるように名づけました。
- ②ボール遊びと音楽にあわせて踊ること。
- ③ボール遊びが好きでキャッチボールが上手にできたこと。
- ④お姉ちゃんが“高い高い”が好きだったので、思いっきりしたら号泣されてしまった(汗)。
- ⑤これからも元気にニコニコ笑顔でみんなを明るく楽しませてね♪

あさひ
志田 旭くん(古閑)
平成26年11月29日生まれ
パパ：章/ママ：恵梨子



歯・お口を健康に！



お口の健康と全身の健康

いつまでも健康でいきいきと暮らすには、歯とお口の健康管理が欠かせません。歯周病になると、細菌が血液中に入り心臓病など思わぬ病気になることがあります。また、物をかんだり、飲み込んだりする力が衰えると、栄養不足で体力が低下し、肺炎・認知症などの病気になりやすく、寝たきりの一因になることもあります。10年後、20年後も健康でいられるように歯とお口を健康に保ちましょう。

お口の健康のポイント



- ① 食後は歯をみがきましょう。毎食後が無理な時は、1日1回しっかり丁寧にみがきましょう（自分に合った硬さ・大きさの歯ブラシを選びましょう）。
- ② 義歯（入れ歯）は、毎日洗浄しましょう。
- ③ 歯ブラシが使えなくても口内の洗浄をしましょう（ガーゼで拭き取る等）。
- ④ 糸ようじ・歯間ブラシ・洗口剤 等を活用しましょう。
- ⑤ 口の機能維持のため、日頃から舌・口・顔面の体操を心がけましょう。

高齢者の総合相談窓口（介護相談・心配事などお気軽にご相談ください）

● 庄内町地域包括支援センター

TEL 45-1030（介護センターほほえみ内）

● 庄内町地域包括 立川サブセンター

TEL 51-2505（庄内町役場立川庁舎内）

畑からこんにちは

冷たい雨の日が続き、久しぶりの秋晴れに三郷原の畑に出かけた11月はじめ。「からとりいも」の収穫に精を出す姿が目に入り、お話を聞いた。



からとりいもの収穫中

近く隣組の“契約”があり当番だという壽さんは、そこでふるまう料理の食材を収穫しているところでした。

壽さんの畑は多くの野菜が端から端まで植えてありました。収穫を終え、空いた場所が草で荒れないように、その時期にあった野菜を次々植えて回転よく栽培しているそうです。

今年は、8、9月の雨不足の影響でからとりいもの茎の丈が短くて残念だと話していました。昨年はこの辺り一帯で収穫直前にハクビシンの被害にあったり、自然相手では思うようにいかないようで



阿部 壽^{とし}さん(南野)

す。しかし、今日の三郷原の秋野菜たちは、大きく育て収穫の日を待っているように見えました。

近くに友達畑もあり、畑作りの話やとれたて野菜の交換など空の下で楽しいコミュニケーションをとっているそうです。



亀治からのメッセージ

《企画展》

館収蔵品展

～なつかしい昭和の風景を添えて～

《同時開催》

丹野清志写真展

「余目の四季1978～1979」

開催期間：11月29日(日)まで

時 間：午前9時～午後9時

入館料：無 料

最終日まで
あとわずか

※12月11日(金)まで展示替えのため休館します。
次回の展示は《冬の展示》「わら仕事・冬の民具」です。



【道具図鑑】 ※現在、企画展で公開中

● 氷冷蔵庫

氷をつかって食品を冷やす道具。

二段になっていて、上下の棚の間はトタンのすのこでつながっており、上段に入れた氷の冷気が下に下りてきて、下段の食べ物を冷やす。

氷冷蔵庫は贅沢品で、木でできたどっしりとした外見は、台所に置くだけで存在感があった。



● さしこ

布地を重ねて刺し綴った衣類。

古着や古布を一針一針刺して布を補強し、防寒や痛んだ被服の補修が目的であったが、何時しか女性たちの知恵と工夫から美しい模様を刺すようになった。

庄内さしこは、「津軽こぎん刺し」「南部菱刺し」とならび、日本三大刺し子と呼ばれている。



亀治の目

企画展で展示している調度品。

実用品でありながら装飾にこだわり、私たちの目を楽しませてくれる。例えば筥こうがい。まげに挿して使う棒状の髪飾りだが、一端の先が尖っており、頭を搔くために使ったものである。日本髪を結っていた当時、

毎日頭を洗う事はないので、よほど必要な物だったのではないだろうか？また、筥こうがいの先に耳かきをつけたものがかんざしまきえで、銀製の物が多く、飾りにはメノウ、ヒスイ、珊瑚などが使われている。財布や印籠につける根

付も本来、帯に挟んで落ちないように紐の先に付けた細工物で、はじめは素朴なものであったが、珊瑚や象牙などの素材を使って、人物や動物、器など精巧に仕上げられていった。そこには日本人ならではのおしゃれがある。

第四幼稚園

よつばっこ通信

せんせい、あのね!

虫たちも静かに!

～築山に虫探しに行った時～
〈年長児の会話〉

〇〇ちゃん「何か鳴いてる!
虫がいるよ!」

△△くん「どこどこ?」

先生「シーツ! 静かにして
聞いてみようよ」

虫 「……」

先生「聞こえないねえ」

□□くん「先生がシーツ!
って言ったから、
虫たちも静かに
してるんじゃないの?」

先生「……」

もいもい山の虫たちの大運動会

今年の運動会は、かぶとチームとクワガタチームに分かれて競い合いました。子ども達は、それぞれクワガタ虫やかぶと虫のように立派な角を作って身につけて参加。年中さんは団子虫のように身を丸めて前回り(前転)がとっても上手にできました。年長さんは、バッタのようにぴよんぴよん走る縄跳の走り跳びや逆上がり・前回り・地球回りなど鉄棒技も披露してくれました。



保護者会の事務局や保体部がいろいろな虫に扮装して、運動会に花を添えてくれました。

当日は子ども達の先頭を切って入場し、拍手喝さい。保護者も子ども達もみんなが頑張った運動会でした。



ふんころがし、アリ、はち、おんぶぼった、みのむし
カマキリ、ちょうちょ、毛虫、とんぼ、テントウムシの入場行進

第四小学校

こうなあってほしちゃ 和合の里

— 6年生のみんなが願う『和合の里』の未来像 —



あおい
長谷部 碧衣

私は、みんなが元気でなかよくあそべるような地いきになってほしいと思います。



まなと
菅原 真翔

自然ゆたかで、みんながわすれない場所になってほしい。きれいな所だし、やさしくりっぱで気持ちがいい場所になってほしい。



さな
高橋 咲菜

私は、自然が豊かでみんな仲良く、元気いっぱいな地いきにこれからもしてってほしいです。



そら
松田 蒼空

ぼくは、あいさつえしゃくを先に元気よくあいさつができていて、ころよくなります。和合の里があつてよかったです。

健康しんぴ

春雨のゴマ炒め

春雨に うまがしみこみ ご飯がすすむ一品♪

◎材料 (6人分)

春雨……………50g	白炒りゴマ…30g	
豚モモ(せん切り)…100g	サラダ油…少々	
にんじん(小)…1本	調味料A	
たけのこ…………1/2本		しょうゆ 大さじ3
小松菜…………1/2束		砂糖 小さじ1
干しシイタケ…………5g		酒 大さじ1
	ゴマ油 大さじ1	



◎作り方

- ①にんじん・たけのこは、せん切り。干しシイタケはもどす。小松菜は3cmに切る。春雨を固めにゆでて食べやすい長さに切る。
- ②フライパンに油を熱して豚肉を炒め、シイタケ・にんじん・たけのこを入れ炒める。春雨・小松菜も加え、調味料Aで味付けし、白炒りゴマ・ゴマ油を加えて出来上がり。

● はるさめ

【メモ】●

はるさめは、緑豆やじゃがいものでんぷんを原料としてつくられている食品です。

炭水化物(糖質)やカルシウム、カリウムなどの栄養素が含まれており、疲労回復や食欲不振にも効果的です。ダイエット食品としても親しまれています。

はるさめはコシが強いため、自然とそしゃく回数が増え、それにより満腹中枢が刺激されるため、少量でも満腹感を得ることができます。白米やパンなどと比較すると非常に腹もちがよい食品のため、ダイエットに効果的です。

～成分情報「わかさの秘密」から引用～

和合交番

高齢者の事故防止ポイント

山形県内の交通事故

平成27年10月25日現在

死者40名中24名が高齢者
内高齢ドライバー11名

■ 道路横断時の左右の安全確認を しっかりしましょう！

- 道路を横断する時は左右の安全、特に左方の安全確認をしっかり行いましょう。
- 横断歩道のあるところを横断しましょう。
- 横断する際は、手や旗で「横断の意思表示」をはっきりとしましょう。

■ 早めのライト点灯と夜光反射材が 事故を防ぎます！



安全横断五則

- ① 安全な場所を選ぶ
- ② 道路の端で必ず立ち止まる
- ③ 右・左の安全を確かめる
- ④ 安全を確かめたら、まっすぐさっさと渡る
- ⑤ 横断中も右・左の車の動きに気を配る

地域インフォメーション!!

第四学区老人クラブ連絡協議会役員研修

“生活習慣病”とはなんだっけ？

毎年開催されている老人クラブ役員研修会。今年は、庄内余目病院の副薬局長 大川賢明先生を講師に医療講演会を実施しました。

一般的に生活習慣病といわれてきたものが、今の医療では違った考え方をしている

ことや処方される薬について薬剤師の視点からの話、「お薬手帳」の重要性など興味深い講話でした。生活習慣病などに対して関心が高く、参加した約45人の会員はメモを取りながら熱心に聞いていました。



和合秋まつり「菊花展」凛とした大輪の菊花 今年も…

11月3日から5日まで第四公民館ホールを会場に行なわれた和合秋香会による菊花展。会員の皆さんが、熱意と愛情を込めて仕立てた見事な菊が展示され、鑑賞者の目を楽しませてくれました。

今年の記録破りの異常気象を耐え抜き晩秋に美しく咲き誇った花153点は、厳選なる審査のもと各賞が決定し表彰が行われました。和合秋香会長賞を受賞された土田善男さんは、先に荘内神社で開催された鶴ヶ岡城址菊花展において自由民主党総裁賞を受賞。他にも4つの賞に輝き、すばらしい成績を収めました。



【優秀花特別賞】

- ・山形県知事賞
[一般花厚物第一位]
梅木 宏輝(廻館)
- ・庄内町長賞
[一般花厚物第二位]
三浦 修次(福島)
- ・余目第四公民館長賞
[一般花厚物第三位]
工藤 恒夫(古関)
- ・庄内たがわ農業協同組合長賞
[一般花厚物第四位]
工藤 正男(古関)
- ・和合秋香会長賞
[競技花厚物第一位]
土田 善男(堤新田)
- ・和合秋香会長賞
[競技花管物第一位]
志田 健(古関)
- ・和合秋香会新人賞
森居 繁子(沢新田)

編集後記

食欲をそそる秋野菜の料理、炊き立ての新米に思わず箸が止まらない。そうなるとぷくぷく横幅が広がり、運動しなければなァと重い腰を上げて歩き出してみる。暗い夜道を歩き、ふと空を見上げてみると冷気に澄んだ夜空に輝く星と月。

なんだか文学的な気分になって、寝る前に埃をかぶっていた本を広げてみる。そんな秋の終わり。

公民館では、秋まつりが開催された。実行委員をはじめ、ご協力いただいたシニアなスタッフとジュニアスタッフの

おかげで大盛況のうちに終わることができた。特にジュニアスタッフは、「来年はあれがやりたい！これがやりたい！」と意欲満々。こうやって地域愛が育まれていくのだろう。